



出資馬は生活に潤いを与えてくれる。一口馬主として出資馬を応援するようになって、旅行は出資馬のレースに合わせたスケジュールになるし、機会があれば牧場見学に申し込んで出資馬に会いたいと思っているし、とにかくお馬さんがかわいくてたまらない。

バレンタインジェムは私の初めての出資馬である*1。愛称はジェム。今は出資馬も数頭いるが、次の世代の出資が決定するまでの1年近くはジェムのことだけを見ていた。初めての一口馬主の世界を魅せてくれたジェムはいつまでも特別な存在なのである。

はじめまして、バレンタインジェム

初めてバレンタインジェムに会ったのは、2017年4月、柔らかな春の陽ざしに包まれたNF早来での牧場見学の時だった。競馬観戦も初心者、キャロットクラブ会員になってからも日が浅い、そのような状況での初めての牧場見学で、とても緊張していた。そんな私たち夫婦に、NF早来のスタッフさんは気さくに「バレンタインジェムは、ノヴェリスト産駒のかわいい女の子ですね！ノヴェリストの顔はスタッフの中でも人気が高いんです！！」「橋田先生ならしっかり見てくださいますね」などと、ジェムの厩舎へ向かう車中いろいろとお話して下さった。ちょうどこの日の午前中に社台スタリオンステーションを見学させて頂いてノヴェリストのお顔を見て「かわいい！！」と思っていたところだったので、「ああ、やっぱりノヴェリストは人気者で、ジェムもかわいいんだなあ」と嬉しくなった。さて、



2017年4月NF早来にて

*1 正確には、一口馬主を始めた夫の出資馬であり、私「お馬さんジェム」は出資者の妻である。

いよいよバレンタインジェムとの対面。ドキドキしながら待っていると、「カポッカポッカポッ」と蹄の音を小気味よく響かせながらジェムが姿を現した。想像していたよりも小柄で、まだ幼い感じ。つぶらな瞳でこちらを見つめてくれて嬉しかったが、ジェムはすぐに面倒くさそうな表情をした。しばらくジェムについて説明して下さった後、歩いている姿を見せて頂けるとのことで、しっかりと目に焼き付けておこうと構えていると、ジェムを曳いているスタッフさんが何やら苦勞されている様子。引いても引いてもジェムは動かない。出資馬の牧場見学が初めてなので、馬に動いてもらうのは大変なんだなぁと思って待っていた。しかし、スタッフさんがあまりに頑張っていて引張ってくださっているのに、ジェムが全く動く気配がなく、だんだん申し訳なくなってきた。「あの、もうかわいい姿が見られたので十分です！ありがとうございます。」と、ジェムの歩様を見せて頂くのは辞退して、初めての牧場見学は無事に終了した。ジェムは退場の際はすんなりとそれはそれは嬉しそうに歩いて馬房へと帰って行った。お顔はもちろんジェムの行動はとても可愛らしく強烈な印象を与えてくれた。ああ、愛すべきジェム！！

メイクデビュー

2017年10月1日、初めての出資馬バレンタインジェムのデビュー戦。日差しが強く暑く感じる阪神競馬場のパドックで、ジェムの登場を待っていた。電光掲示板に表示されたジェムの馬体重は…392…えっ！？392キロ？？小柄なのは知っていたが、500キロや400キロ台の数字が並んでいるなかで、392と表示されているのを見ると急に不安になってきた。とは言えこの時点ではまだ、ジェムはこの新馬戦を快勝して次も何かで勝って桜花賞に出走するものだと思っていた。ここで勝って、春までに成長して大きくなってくれれば…



デビュー戦のパドック

いよいよジェムがパドックに現れた。半年前に牧場見学で見た時よりも随分と遅く見える。しかも、あの時は歩いて見せてくれなかったジェムが、今は曳かれてちゃんと歩いているではないか。みんなと同じように堂々と周回を重ねる姿に安堵した。返し馬も無事に終え、ジェムは2番人気でレースに挑む。ゲート入りはスムーズに進み、大外枠10番のジェムは一番最後にゲートの中にスッと入って行った。あっという間にゲートが開き、勢いよく飛び出したジェムを見て「勝てる！きっと勝てる！！」と一気に緊張感が高まった。藤岡康太騎手に抑えられながら3番手のいかにも強そうな位置で進み、4コーナーでは先頭に立とうとしたが、1番人気のアルモニカの勢いが止まらず差は広がる。「大勢決

した」という実況が聞こえてきた。ジェムは2着でゴールした。急に緊張が解けて、予想外に負けてしまっただけで、がっかりした気持ちと、無事にデビュー戦を終えホッとした気持ちがまず押し寄せてきた。その後、2着はすごいんじゃないかと喜ばしく思う気持ちがわいてきて、ようやくレースVTRが流れているターフビジョンに目を移し、ジェムがゴールまで頑張っている姿を振り返ることができた。やっぱり2着は立派だと思

う。悔しい気持ちよりも、良かった！嬉しい！と感謝の気持ちでいっぱいになった。それに、2着だったから次のレースでは勝ち上がれる、そうすればまだ桜花賞に間に合うかもしれない、とも思った。ああ、一口馬主って楽しい！！希望に満ち溢れたこのレースが一口馬主として49連敗の始まりであったとは、この時の私は知る由もなかった。

続戦、小倉遠征

新馬戦の興奮が冷めやらぬ中、ジェムは在厩で続戦することになったので、「今度こそ優勝！！」と私はすっかり前のめりになっていた。が、ジェムの2戦目の結果は7着。返し馬で騎手が止めても全く止まらず、ゲート裏まで全力で走って行って疲れてしまったようだ。レースでは出遅れたものの頑張って先行するが、返し馬で走り過ぎたせいか直線は伸びなかったのだ。この2戦目の頃から、ジェムは隙あらば全力で走るようになってしまった。

3戦目は輸送をこなし小倉競馬場出走。馬体重は386キロで、やはり他の馬よりもひときわ小柄に見えてしまう。それでもレースが始まると、内からするする上がって好位につけて一生懸命に走っている。最後は、外から来たジェムよりも大きな馬たちに差されて6着。勝ち上がりは信じていたが、もう2月後半ということもあって桜花賞のことはすっかり頭の中から消えていた。それよりも、どこの競馬場のどの距離でどんな展開になればジェムが勝てるのかを考えることが増えた。それに、まずはジェムの馬体重がもう少し増えたらいいのになぁと切実に思うようになった。

除外、そして手違い

ジェムの強みはスピード。それを最大限に活かそうということで橋田先生が目標に掲げたのは、なんと新潟の千直！いつも見ていてとてもわくわくするあの千直のレースにジェムが出走するのかなと思うと胸が弾む。大外枠をひいて、スタートから思う存分突っ走って先頭でゴールする姿が目浮かぶ。課題は馬体重がどれだけ増やせるか。ジェムは調教でもいつも全力で走って馬体重を減らしてしまうようなので心配だ。ここでも橋田先生の名案が！プール調教だ。さすがのジェムもプールでは暴走することなくリラックスできているらしい。プールで気持ち良く泳ぎながら体を鍛えて、たくさん食べてムキムキになって千直に出てもらいたい。週末の千直での優勝に向けて盛り上がってきた木曜の夕方。JRAの出馬表を見るとバレンタインジェムの名前がない！！未勝利の千直はかなり人気があるようで、ジェムは節が足りず非抽選除外となっていた…。



千直に出走する気満々でしっかりと仕上げられたジェムは、翌週の京都の芝1200mを目指すことになった。京都競馬場だと応援に行けそうなのでそれはそれで楽しみだ。ジェムの優勝を目の前で見られるかもしれない

という期待が高まってきた木曜日の夕方、JRA の出馬表をしてみる。予定していた京都 4R の 3 歳未勝利・芝 1200 m でジェムの名前を探したが見つからない。非当選馬にも非抽選馬にも名前がない。急に出走できなくなるなんてジェムに何かあったのではないかと不安な気持ちが広がってくる。とりあえず、他の未勝利戦に名前がないか確認していくと、京都 3R の牝馬限定戦に名前があったので心底ホッとした。ホッとしたのもつかの間、今度は距離を見てギョッとした。3R は芝 2000 m なのだ。先週の千直を除外されたジェムが芝 2000 m に出走することになるとは！！どうということ？と驚いたが、出馬投票で手違いがあったようだ。一口馬主を始めたばかりで経験が浅かった私は、こんなこともあるのかぁと思っていたが、その後このような手違いは経験していないので珍しいことだったのかもしれない。



岩田騎手を背に歩くジェム

土曜、予定通り京都競馬場に来た。手違いがあったにせよジェムの出走するレースが楽しみなことには変わりはなく、現地で応援できるのはとても嬉しい。パドックには、おそらく中長距離が得意なお馬さんたちに混じって、小柄だが筋肉ムキムキの短距離馬として仕上げられたジェムの姿があった。馬体重も前走より 14 キロも増えて 400 キロになっている。ジェムがレースの時に 400 キロを超えたのは初めてだ。これで、1200 m 戦に出走できていたら本当に勝てるんじゃないだろうかと思えるほど調子が良さそうに見える。ここまで仕上げてくださった陣営の皆様はどんなに残念に思われていることだろう。とにかく今日は 2000 m を走るしかないのだから、無事に、できればタイムオーバーとならずに完走してくれることを祈るしかない。本馬場入場では、岩田騎手を背に二人曳きで芝コースを歩いて移動するジェムの姿が！返し馬で走り過ぎて消耗してしまうこともあるジェム、今回は 2000 m を走らないといけないことも考慮されたのか、返し馬では全く走らせないようだ。輪乗りにも加わらず、厩舎スタッフさんに付き添われたままスタート地点で待機するジェムはとてかわいかった。準備運動（返し馬）なしで、いきなりレーススタート！ジェムはすんなり先頭へ。短距離が得意なジェム、ここではスタートダッシュが全然違う。この勢いがどこまで持つのか不安にはなったが、先頭を走ってくれるとわかりやすいしよく見えるので、応援していて楽しい。向こう正面でも快調に走っており、もうここまで先頭で来てくれて良かったよ…と思っていたが、3 コーナー、4 コーナーを回って直線

入ってもまだ先頭を走っているではないか！信じられない光景に胸が熱くなった。ジェムがここまで頑張れるとは…岩田騎手のこの素晴らしい騎乗を忘れることはないだろう。ゴールまであと 200 m くらいのところで、後続馬に強襲されるとつい失速してしまい結果は 11 着。だが、他の馬たちに大きく遅れることもなく無事にゴールしてくれた。この日、目の前で頑張ってくれたジェムと導いてくださった岩田騎手の姿が強く印象に残っている。

タイムリミット

適性距離でないレースで優先出走権を逃したジェムは放牧に出る。夏の未勝利戦が終わるまであと数ヶ月。なんとしても勝ち上がってもらいたい次走は、中京芝 1200 m戦。中京に来てくれるならまた応援に行ける、そこで優勝する姿を見ることができるはず！と再び盛り上がってきた。2000m でもあれだけ走ることができたのだから、1200 mなら大丈夫。何としてもここで勝ち上がってください。と祈りながら迎えた7/22の中京2Rで、ジェムは逃げることができずに8着。結果は残念だったが、パドックではかわいい顔がよく見えたし、本馬場入場では富田騎手を背にスタッフさん2人に曳かれて向こう正面のスタート場所まで歩いて移動している姿をしっかりと目に焼き付けることができた。勝ち上がりを諦めた訳ではないが、残された未勝利戦の期間内に芝の短距離戦に出走するのは難しいという、厳しい現実を突き付けられることとなった。

ジェムのJRAでの最後のレースは、9/2の小倉2Rダート1000m戦。ジェムが実はダートが得意だという可能性に一縷の望みをかけて応援する。好スタートで先団につけるが、小柄でいかにもダートに向いてなさそうな走りでは最後は伸びず8着。本当によく頑張ってくれた。ここまで無事に走ってくれてありがとう！！レース後、ファン解散が発表された。

ありがとう、ジェム

ジェムが出資馬ではなくなってしまって、なんとも寂しい。だが、サラブレッドオークションに出品されたジェムは新しい馬主さんと出会い次のステージへと踏み出していた。地方競馬でコンスタントに走ってくれて、出資馬の時のように応援できることを嬉しく思う。園田で3戦、名古屋で1戦、高知で6戦した後、再び名古屋で出走してくれたジェムに会いに行った。ジェムに会うのは中京の未勝利戦以来、半年ぶり。相変わらずとてもかわいい。高知では6戦全て最下位だったが、このレースでは、頑張っていていつもより粘り強く走ってくれて最下位を脱出してくれた。ジェムに会ったのはこの日が最後となった。その後、ジェムは名古屋と金沢と笠松で1戦ずつ走るが成績は振るわず、地方競馬登録を抹消された。翌年、その次の年も、またその次の年も、繁殖牝馬情報を見てバレンタインジェムを探したが、ジェムが繁殖牝馬として登録されているのを目にすることはなかった。どこかで幸せに暮らしているのを願うばかりだ。

初めての出資馬バレンタインジェムは、私に一口馬主の喜びや厳しさを教えてくれた。かわいくて小柄な個性あふれるお馬さんで、応援していてとても楽しかった。大好きなジェム、出会ってくれてありがとう、ずっと忘れないよ。



名古屋競馬場にて